

参加費無料

あまくさ 暮らし観光 スクール

AMAKUSA KURASHI KANKO SCHOOL



あなたが今いる
その場所を
「観光」しませんか？

日程
全4回

2025 年
10月18日 (土)
11月22日 (土)
12月13日 (土)

2026 年
1月17日 (土)



MOTOKO



各回ゲスト講師

stillwater



川口瞬



山崎翔子



刑部信人

「観光」 しませんか？ あなたが今いる その場所を

毎日見慣れた風景も、通り過ぎていた小道も、なじみの喫茶店も——そこには観光の「光」が潜んでいます。その光は、日常を少し視点を変えて眺めるだけで現れてきます。

「あまくさ暮らし観光スクール」では、広告、音楽、ファッション等の分野で活躍してきた写真家・MOTOKO が伝えるローカルフォト（※）の手法を通して、地域の魅力を見つけ直す方法を学びます。日々のまなざしは人それぞれ。ふだん気づかない魅力を立ち上げ、地域を新しい角度でとらえます。全 4 回のプログラムでは、カメラの使い方を学ぶだけでなく『対話のワークショップ』も行い、自分を知ることとお互いを知ること、まちを見つめる視野を広げていきます。

観光は、必ずしも遠くに行くことではありません。自分が暮らす地域をいつもよりちょっと深く見つめてみる。それもまた「観光」です。予定された非日常ではなく、ふと出会う思いがけない日常を楽しむ——そんな観光をしてみませんか？

※「暮らし観光」とは：喫茶店やまち中華など、その土地ならではの暮らしにふれ、味わうことを目的とした新しい旅のスタイルです。観光地ではない地域の日常や文化を楽しみ、旅人が「一時的な住民」としてそのまちに入り込み、暮らすように過ごすことが特徴です。地域の人の目線や風景や営みを、外からの視点で観光資源として再発見することで生まれる、新しい旅のかたちです。

※ローカルフォトとは：地域に暮らす人々が、自分たちのまちや暮らしをカメラで切り撮り、発信する市民参加型の活動です。2014 年の開始以来、全国各地で展開されており、天草では 2023 年 10 月に開催されました。

あまくさ 暮らし観光 スクール

AMAKUSA KURASHI KANKO SCHOOL



2023 年に開催された「天草ローカルフォト学校」の様子

講座内容

第1回目は、自分と地域を見つめる対話のワークショップを、第2回以降は、カメラという「ツール」を使いながらも、キーワードは人の心の奥にある「誇り」や「暮らし」「地域」です。その発見こそが、これからの地域観光の核になっていくと私たちは考えています。



MOTOKO

写真家。1966 年大阪生まれ。1996 年に東京でキャリアをスタート。2013 年、香川県小豆島で「小豆島カメラ」を立ち上げ、以降、全国で「ローカルフォト」という写真によるまちづくりを展開。主な活動に、滋賀県長浜市「長浜ローカルフォトアカデミー」、愛知県岡崎市「岡崎カメラ」、青森県藤崎町「ふじさきローカルフォトアカデミー」など。展覧会に「田園ドリーム2018」（オリンパスギャラリー東京）、「田園ドリーム」（銀座ニコンサロン2012）がある。

第1回

10月18日（土）

テーマ

わたしの“好き”をまちの魅力にする

講座内容

午前：ワークショップ
午後：座学



ゲスト講師

stillwater

インタビューによる価値の掘り起こしから、コンセプト設計、ブランディング、商品開発、セミナーやワークショップの企画・編集まで、対話を軸にクリエイティブを構築するコンサルティングチーム。文化・食・アートなど、多様な分野でメンバーの強みを活かしつつ、柔軟に企画を展開している。メンバーの村田麻実（写真左）は、元「PHaT PHOTO」編集者。食やまちづくりの現場を経て2022年に参加し、人や土地の声に耳を傾け、地域と人をつなぐプロジェクトに取り組む。

第3回

12月13日（土）

テーマ

まちに自分に明かりを灯す

講座内容

午前：座学
午後：まち歩き



ゲスト講師

山崎翔子

東京都江戸川区出身。武蔵野美術大学デザイン学科卒。愛知県で食器屋の営業や商品開発に従事後、岡崎市へ移住。2018年にまち歩きMAP「未知とアンテナ」を自主制作。2018・2019年に「岡崎カメラがっこう」に参加し、「岡崎カメラ」として活動。2019年より約5年間「Micro Hotel ANGLE」でホテルスタッフを務め、2022年に飲食物販と表現の場としての店「esoteric」を開業。

第2回

11月22日（土）

テーマ

日常を観光する

講座内容

午前：座学
午後：まち歩き



ゲスト講師

川口瞬

真鶴出版代表。雑誌『日常』編集長。日本まちやど協会理事。1987 年山口県生まれ。IT 企業勤務の傍ら、インディペンデントマガジン『WYP』を発行。2015 年に真鶴町へ移住し、「泊まれる出版社」真鶴出版を立ち上げる。地域の魅力を発信する出版活動に取り組む。『LOCAL REPUBLIC AWARD 2019』最優秀賞受賞。

第4回

2026年1月17日（土）

テーマ

写真が地域で出来ることを考える

講座内容

午前：座学
午後：まち歩き



ゲスト講師

刑部信人

株式会社日當り代表／写真家。1984 年静岡県生まれ。2007 年東京工芸大学芸術学部写真学科卒業後、広告制作会社勤務やフリーランスを経て、2022 年に株式会社日當りを設立。同年に東京を離れ、佐賀県佐賀市へ移住。広告、書籍、映像などの撮影を中心に活動しながら、国内外で作品を発表。写真集『花火』『HOLIDAY』（FOIL）を出版。

会場

天草市複合施設こくらす（天草市浄南町4番15号）
および天草市内

開催時間

各回 午前10時～午後4時

対象

基本的にすべての講座に参加が可能な
おおむね 20 代～ 40 代。
（天草市内在住者優先）

定員

15 名
（多数応募の場合抽選）

お申し込み

詳細・お申し込みは、天草市ホームページの
QR コードからご確認ください。

申込締切：9月22日



参加費無料

お問い合わせ

天草市観光振興課

TEL: 0969-32-6787

Mail: kankou-a@city.amakusa.lg.jp

主催：天草市観光振興課

企画運営：stillwater（スティルウォーター）／MOTOKO